2025年

おすすめの本
高学年

過去3年間の出版物を中心に
市立須坂図書館職員が選びました。

本をよむのは　だれのため？　おかあさんのためじゃない。がっこうのせんせいのためでもない。たくさんたべて、せがのびるように、たくさんよんで、こころを大きくするため。ぼくのため。わたしのため。

わすれていいから

大森裕子/著　KADOKAWA

生まれたときからいっしょの「おまえ」。でも、「おまえ」はだんだんいないことが多くなって……そうか、新しいなわばりをみつけたんだな。少年の旅立ちを応援する猫の物語。

E オオ

茶の湯、やってみた！（おはなし日本文化　茶道）

石崎洋司/作　十々重/絵　講談社

月曜倶楽部へようこそ！（おはなし日本文化　短歌・俳句）

森埜こみち/作　くりたゆき/絵　講談社

京都に旅行した美咲は、茶道にチャレンジすることに。はじめは緊張していたけど……茶の湯の秘密をつぎつぎ発見していく。落語、短歌・俳句、和食に書道に刀剣？　いちどはやってみたい日本文化がいっぱい！

K913 オ

はりねずみのルーチカ　まよいこんだフェリエの国

かんのゆうこ/作　北見葉胡/絵　講談社

はりねずみのルーチカは、フェリエの国にすんでいます。ある日、人間の女の子がまよいこんできて……もとの世界に帰るため、ルーチカは女の子と「時間と空間のすきま」をさがすことに。シリーズ13冊め。

K913 カ

昆虫が世界をすくう！

バグライフ/文　チュイ・ラン/絵　佐藤見果夢/やく　評論社

昆虫は、地球をすくうスーパーヒーローです。昆虫がいないと、花は咲かない。実もならない。昆虫をエサにしている鳥や魚も生きていけません。昆虫の役目を知って、昆虫をまもる方法を考えましょう。

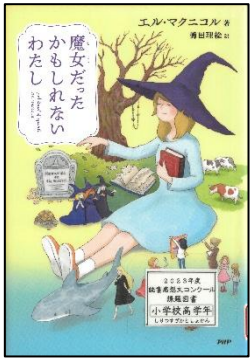
科学のえほんコーナー　E チユ

ワルイコいねが

安東みきえ/著　講談社

本音をかくす主人公が、本音しかいわない転校生と出会い、心を自由にする生きかたに目ざめていく。秋田といえば「なまはげ」とあだ名をつけられた転校生は、「あだ名はいやじゃないです。でも……」

K913 ア



魔女だったかもしれないわたし

エル・マクニコル/著　櫛田理絵/訳　PHP 研究所

スコットランドの小さな村でくらす自閉の少女・アディ。むかし、「人とちがう」というだけで魔女と呼ばれた人たちがいたことを知り、考える。「わたしも魔女にされていたかもしれない―」

K933 マ

モネと睡蓮　ジヴェルニーの庭の小さなスパイ

フォンタネル/文　ユアール/絵　松井文恵/訳　世界文化社

印象派の画家・モネ。パリ万博(1889)で見た睡蓮に心をうばわれ、庭に池をつくりました。晩年のモネの日常と絵の世界を、庭にすむ小さな生きものが案内します。「わたし」はだれでしょう？

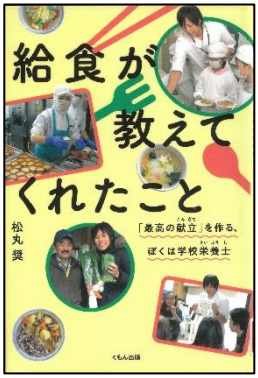
K723 モ

ひき石と24丁のとうふ

大西暢夫/著　アリス館

だれもいない山おくで、とうふをつくりつづけるミナさんが、手で動かせる道具だけでつくるようすと声を伝えます。16年にわたる取材から生まれた写真絵本。

K619 オ



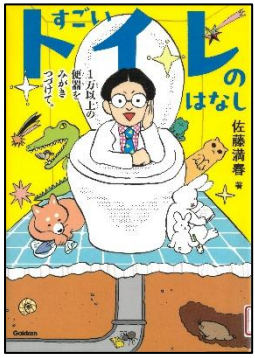
給食が教えてくれたこと

「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士

松丸奨/著　くもん出版

食べることが苦手だった少年が、ある栄養士との出会いをきっかけに学校給食に魅了され、栄養士の道を志す。2013年の「全国学校給食甲子園」で優勝するまでの熱血お仕事ノンフィクション。

K374 マ



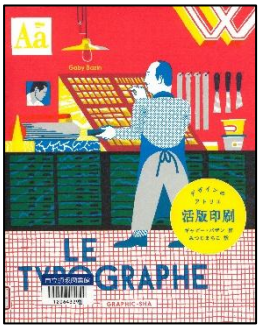
すごいトイレのはなし

1万以上の便器をみがきつづけて。

佐藤満春/著　伊藤ハムスター/絵　萩原まお/絵　Gakken

毎日行くトイレにはなぞがいっぱい。あなのむこうは、どうなっている？　便器は、どんなふうに進化してきた？　トイレには技術と工夫がつまっている！「名誉トイレ診断士」の深くて楽しいトイレの話。

K518 サ



活版印刷　デザインのアトリエ
石版印刷　デザインのアトリエ

ギャビー・バザン/作　みつじまちこ/訳　グラフィック社

活版印刷や石版印刷。フランスの印刷工房を舞台に、印刷工が、奥深い職人の世界を案内します。魔法のような印刷技術はいかにして誕生したのか。本と印刷の歴史や技術のすばらしさがわかります。

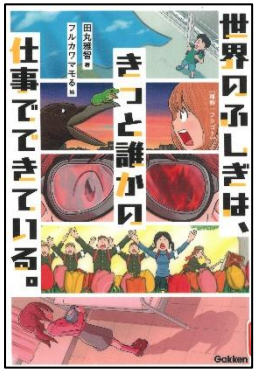
K749 バ

起業家フェリックスは12歳

アンドリュー・ノリス/著　千葉茂樹/訳　あすなろ書房

「このカード、すっごくすてきじゃない？」おばあちゃんが気に入って、口コミで広がり、オンラインショップで販売したら、爆発的大ヒット？　ビジネス＋友情＋家族のワクワクする楽しい物語。

K933 ノ



世界のふしぎは、きっと誰かの仕事でできている。

略称：フシゴト

田丸雅智/著　フルカワマモル/絵　Gakken

空模様をデザインする「空染め職人」、動物たちに鳴きかたを教える「生き物ボイストレーナー」など、あったら楽しい「架空職業」につく人たちの「空想仕事物語」。働く楽しさを教えてくれる。

K913 タ

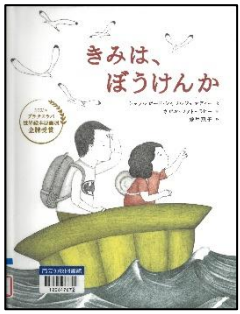
ある日、戦争がはじまった

12歳のウクライナ人少女イエバの日記

イエバ・スカリエツカ/著　神原里枝/訳　小学館クリエイティブ

12歳の誕生日の10日後、ロシアのウクライナ侵攻がはじまった。イエバがくらすハルキウは、ロシアの攻撃下におかれ、地下に避難したイエバは日記を書きはじめる―。現代版『アンネの日記』。

戦争コーナー　K986 ス



きみは、ぼうけんか

シャフルジェルディー/文　ファトッラヒー/絵　愛甲恵子/訳　ブロンズ新社

わたしとおにいちゃんは、戦争をのがれて「ぼうけん」のたびにでた。海をわたるボートが大波でひっくりかえっても前にすすんで、たどりついたのは……難民になったおさないきょうだいの希望の物語。

戦争コーナー　E フア

どう解く？　答えのない道徳の問題

やまざきひろし/ぶん　きむらよう/え　にさわだいらはるひと/え　ポプラ社

「いい天気」って聞くと、どうして晴れの日を想像しちゃうんだろう？　答えのない問いに、自分の意見を出してみよう。みんなと話し合ってみよう。考えることは楽しいこと。話し合うことは、気づくこと。

K150 ヤ